



秋田県立 能代養護学校教育プラン

I 学校の現状と課題

1 現状

本校は、知的障害を有する児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校であり、平成6年4月に開校した。

現在の児童生徒数は、小学部26名、中学部23名、高等部42名の計91名が在籍している。また、地域外から通う児童生徒のために寄宿舎を設置しており、25名の児童生徒が利用している。

校地面積は69,114㎡と全国4位の広さである。この広大な敷地を利用して、稲作、野菜、果樹、園芸などの作業学習に力を入れている。

充実した日々の授業づくりを基盤にして、小・中・高等部の児童生徒の発達に合わせた交流活動を計画・実践している。居住地校交流や学校間交流、地域交流活動にも力を注いでいる。高等部生によるミュージカル公演や全校行事の「しののめ夏祭り」は、地域の協力も得て今年度20回目を迎える。

これらを通してキャリア教育を踏まえた授業づくりを進め、自立と社会参加に繋がる教育課程の編成と実施に努めている。

2 課題

地域との共生を目指した学校づくりを進めるため、特別支援教育、特別支援学校に対する地域の認知度を今以上に高めていく必要がある。地元企業の進路開拓、地域の小・中学校に対する就学相談、就学支援など特別支援学校のセンター的な役割を担うための教職員の専門性の向上、児童生徒一人一人の自立と社会参加を実現するための主体性、自主性を育む教育実践の進め方が今後の課題である。

II 目指す方向性・学校像や幼児児童生徒の姿

1 目指す方向性

(1) 「この子らは世の光なり」を心として、子ども一人一人の尊厳を重んじ、愛情に満ちた教育を推進します。

(2) 子どもたちの日々生き生きとした生活づくりを目指し、共に生きがいのある教育を推進します。

(3) 心豊かで、互いに愛と信頼で結ばれ、内外に開かれた教育を推進します。

2 学校像と児童生徒の姿

○ 目指す学校像

(1) 一人一人のニーズに最適な教育を追求し、新しい時代を拓く学校を目指します。

(2) 地域と共に歩み、地域に貢献する学校づくりを推進します。

(3) 子どもたちが考えや心を外に開いていく教育を実践します。

○ 目指す児童生徒像

明るく元気な子、仲良く助け合う子、喜んで働く子を育てます。

Ⅲ 具体的な目標・取組・推進指標

重点目標 人権・共生・インクルーシブ教育

↓
 自立と社会参加に繋がる教育課程の編成と実施

↓
 地域社会の資源（人、もの、活動の場）を活用した地域の人と関わる質の高い教育活動を展開する

↓
 児童生徒の主体的な活動を引き出す

目標1 自立と社会参加に繋がる教育課程の編成と実施

- <小学部> 基本的な生活習慣の確立、生活意欲の育成等の指導を推進する。
 - ・日常生活の指導、自立活動の時間の指導内容の充実
- <中学部> 作業学習や地域貢献活動を重視した、地域と触れあう教育実践を推進する。
 - ・インターンシップ、能養ショップ、作業作品の寄贈等
- <高等部> 確かな進路実現のための高等部教育課程を編成する。
 - ・職場体験や長期・定期職場実習を実施し、地元事業所での多様な体験の機会を設ける。流通についても生徒が参画する。
 - ・多様性の中で自立や社会参加の態度を育む。
- <寄宿舎> 個別の生活支援計画に基づく教育とのタイアップによる支援を強化する。

目標2 一人一人の願いを実現する進路指導

- ① 作業学習においてボランティア人材などの外部講師を活用したクオリティアップ研修を実施し、製品の品質向上と製作に係る技術力向上を図る。
- ② 農産物加工食品、木工製品などオリジナル商品を開発して、木曜カフェ、アンテナショップ等での販売を展開するなど、生徒の企画力、実践力を育成する。
- ③ 職場実習受入企業を拡充し、生徒の希望や能力に応じた進路実現を図る。
 [一般就労 推進指標： 可能性のある生徒の就労率100%]
 [福祉的就労 生徒の可能性を伸ばし、適性を理解して進路を決定]
- ④ 実践的な力を養成するため、介護職員初任者研修で介護施設等での研修に取り組む。

目標3 地域資源を活用した、地域に貢献する教育活動の推進

- ① 地域の人材や地域資源を活用した特色ある教育活動を展開する。
 - ・経験豊富な人材を活用した魅力ある授業や教育活動
 - ・全校体制で取り組む能代養護ミュージカル
 - ・保護者や地域とともに企画運営するしののめ夏祭り
- ② 地域に貢献する活動を推進する。
 - ・地域の祭典の運営に参加（天空の不夜城、おなごりフェスティバル等）
 - ・活性化に繋がる活動（能代観光PR販売、のしろまち灯り 等）
 - ・地域の清掃や除雪などのボランティア活動の推進
- ③ 地域での活動を展開する中で、地域の方々の理解を深める

目標4 インクルーシブ教育の推進

- ① 地域の小・中学校・高校との交流及び共同学習の発展を図る。
 - ・向能代小学校、東雲中学校、能代西高校との交流及び共同学習の充実を図る。
 - ・居住地校交流を推進し、生活しやすい地域づくりを推進する。
 [推進指標 小学部100% 中学部 60%]
- ② 地域の幼・小・中・高校の教員を対象とした特別支援教育セミナーを開催する。
- ③ センターの機能の充実を図り、各自治体の就学相談・就学指導への協力を推進する。
- ④ 校内・校外での授業研究、パワーアップセミナー、地域支援コーディネータ研修等を通して教員一人一人の専門性を高める。